

施策評価シート（評価実施年度：平成27年度）

事務事業所管部局長
(幹事部局)

総務部長 田部宏治

電話番号

5916

①施策の目的等

施策の名称	施策3 財政健全化に向けた改革の推進
目的	中長期的に持続可能な財政運営の実現に向けて、県民の暮らしや企業活動などへの影響に十分配慮しながら、財政健全化基本方針に基づく改革を推進します。 ○行政内部の歳出削減努力の徹底に加え、あらゆる事業の見直しを進めることによって、将来にわたり安定的な財政運営が行えるようにします。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
毎年発生する収支不足額	目標値	/	30.00	25.00	20.00	15.00	億円	目標値	/						
	取組目標値	/						取組目標値	/						
	実績値	/	27.00	24.00	20.00			実績値	/						
	達成率	/	110.00	104.00	100.00			%	達成率	/					
	目標値	/						目標値	/						
	取組目標値	/						取組目標値	/						
	実績値	/						実績値	/						
	達成率	/						%	達成率	/					
定性目標	平成24年度～平成27年度 財政健全化基本方針の終期であるH29年度を目途に、130億円程度の基金を確保した上で、給与の特例減額などの特例措置なしに、基金の取り崩しを行わなくても良い、収支均衡の状態を目指す。														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	必要に応じて記載（任意記載）														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>○平成27年度当初予算では、財政見直しを踏まえた予算編成を行い、収支不足は概ね「今後の財政健全化の取組方針（H26年3月策定）」で想定した範囲内に止めることができた。目標とする収支不足額 15億円⇒H27当初予算編成後の不足額65億円。決算段階での財源確保50億円を含む場合の収支不足見込み15億円。なお、この前提としている50億円程度の執行節減等決算段階での財源確保については確実に行う必要がある。</p> <p>○県税の徴収率は98.8%と、前年度と比較して0.3ポイントアップした 徴収率⇒H25)98.5% H26)98.8% ※H25は全国1位</p>
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価	判断	その理由
A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいるが見直す点もある C:あまり順調に進んでいない	B	「今後の財政健全化の取組方針（H26年3月）」に沿った取組を今後も継続するとともに、経済情勢、国の予算、地方財政対策等の動向に留意し、適宜柔軟に取組を見直すことで目標達成は可能。

⑤課題の認識

(1)平成27年度末の施策目的の達成状況（予測）	判断	その理由（「総合的な評価」の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		○県の税収や国の予算・地方財政対策、税制改正及び社会保障等の制度改革の動向などが不透明な状況であり、中期的な財政見直しを確定的に見積ることが困難であるため、毎年度秋頃、翌年度の予算編成に併せて財政見直しを見直す。

⑥今後の取組の方向性

課題解決に向けての今後の取組の方向性	<p>○「今後の財政健全化の取組方針（H26年3月）」に沿って改善を図ると共に、歳入の約6割を国等に依存することから、今後も動向を注視し、地方交付税の総額確保などの財源の確保、歳出規模の見直しを情勢に応じて柔軟に対応する。</p> <p>○課税自主権を活用するなど引き続き税収の確保に努める。</p>
--------------------	--